



# ITU-R SG5関係会合（WP5B）の結果概要について

総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 **和田 孝行**

総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 **塚田 大貴**

## 1. WP5B第31回会合

### (1) WP5Bの所掌及び会合の概要

WP5Bは、無線測位業務、航空移動業務及び海上移動業務に関する技術的検討を実施している。今研究会期（2019年-2023年）における8回目の開催であるWP5B会合は、2023年7月10日（月）から同年7月20日（木）までの9日間にわたり、ジュネーブ及びオンライン（ZOOM）のハイブリッド方式により開催された。約73の国・機関・セクターメンバーから約315名が参加した。日本からは、7名が現地出席した。WP5B議長は、J.Mettrop氏（英国）であり、表に示す5つのWorking Group（WG）を設置して、審議を行った。

なお、2008年から議長WP5B議長を務めていたJ.Mettrop氏（英国）及びWG5B-1議長のM.Weber氏（ドイツ）については、今会期で退任することから、全体会合において謝辞等が述べられた。

■表. WP5Bの審議体制（敬称略）

	担務内容	議長
WP5B	無線測位業務、海上移動業務及び航空移動業務	J.Mettrop（英国）
WG5B-1	無線標準関係（各種レーダー等）	M.Weber（ドイツ）
WG5B-2	航空関係（WRC-23議題1.1, 1.6, 1.7等）	J.Andre（フランス）
WG5B-3	海上関係（WRC-23議題1.11等）	J.Huang（中国）
WG5B-4	他の課題	J.Cramer（米国）
WG5B-5	衛星関係（WRC-23議題1.8等）	P HOVSTAD（香港）

### (2) 主要議題及び主な結果

#### ①滑走路異物検知用レーダーシステムについて

92-100GHzを使用する滑走路異物検知用レーダーシステム（我が国提案）と気象レーダー（フランス提案）の技術特性に関するITU-R新勧告草案M. [RAD-92-100GHz] について、2022年11月のSG5会合で、民間基準（米国連邦航空局（FAA）のサーキュラー）を参照していること及び保護基準に時間率を加えることを考慮すべき等の指摘に

より、差し戻されたことから再度審議を行った。

本件審議について、日本からの寄書も入力し、SG5指摘点の修正を行い、次回のSG5（2023年9月25日及び26日）に再度上程することとなった。

なお、地球探査衛星業務との周波数共用に関する新ITU-R報告草案M. [FOD\_EESS\_SHARE] については、特段の入力文書はなく、継続審議となっている。

#### ②WRC-23 議題1.8関係（UAS（無人航空システム）のCNPC（制御及び非ペイロード通信）リンクに関する検討）

UAS（無人航空システム）の運用には、航空管制通信を中継してリモートパイロットが飛行を制御するために、信頼性の高いCNPC（非ペイロード通信）リンクが必要であり、衛星ネットワークの利用が期待されている。こうした背景から、WRC-15において、静止衛星ネットワークで動作するUAS CNPCリンクに用いるための固定衛星業務の周波数帯域が特定され、決議155（無人航空機の管制及び非ペイロード通信等の規制条項）が発効された。WRC-23議題1.8において、決議171に基づき、UAS CNPCリンクの技術・運用・規制面の検討を踏まえ、決議155及び関連するRR脚注5.484Bの改訂を行うこととされている。

UAS送信から地上業務の保護に関する新ITU-R報告草案M. [UA\_PFD] を米国、ドイツ、フランスが提案する一方、FSSの帯域のESIMは干渉を容認するとなっていることから、飛行の安全確保の観点から整合性がとれておらず、反対の立場を示す、ロシア、中国、イランとの対立が継続している。CPM23-2の結果、CPM文書に「合意できないことが合意」と記載され、具体的なMethodは詰められていない。

本会合においても、米国及びドイツと、ロシア、中国、イランとの対立が継続し、具体的な入力文書（米国提案M. [UA\_PFD] の改訂）について、内容は審議されず、「一部の国からそもそも議論を反対されている」旨をエディタノートに記した上で、WP5B議長へ報告し、審議は終了した。



③WRC-23 議題1.11関係（自動接続システムの技術詳細（通信パラメータ等）の検討）

国際海事機関（IMO）において検討されたGMDSS近代化において、MF及びHF帯無線通信は継続使用されることとなり、運用を簡易化するためにデジタル選択呼出（DSC）を応用した自動接続システム（ACS）機能の導入が決定された。DSCの技術特性はITU-R勧告M.493-15、運用手順はITU-R勧告M.541-10で定められており、ACSの導入のため、両勧告の改訂が議論されている。

前回会合で日本から提案したITU-R勧告M.493-15に対するACS通信パラメータ等の追加及びITU-R勧告M.541-10に対するACS運用手順等の提案に基づき、今回会合にお

いて両勧告改訂草案が審議され、改訂勧告案として合意、WP5Bで承認され、SG5へ上程された。

さらに、ACS全体の運用手順を記述したITU-R新報告草案M.[ACS]について、日本からの修正提案（実証実験結果の追加提案）は受け入れられ、ITU-R新報告案M.[ACS]としての格上げがWP5Bで承認され、SG5へ上程された。

### 3. 今後の予定

次回会合は以下のとおり開催される予定。

SG5会合（SG5に上程した文書の審議）：2023年9月25日～26日（ジュネーブ）

WP5B会合：2024年5月13日～23日（ジュネーブ）

## 国際航海を行う船舶局に必須の書類 好評発売中！



**-New!-**  
船舶局局名録  
2023年版



海上移動業務及び  
海上移動衛星業務で使用する便覧  
2020年版



海岸局局名録  
2021年版

お問い合わせ：hanbaitosho@ituaj.jp

